

北イタリア安全対策情報（2022年10月～12月）

1 治安情報

昨年、当館が認知した北イタリアにおける日本人の犯罪被害数は41件となり、内訳はスリ21件、置き引き12件、車上狙い4件、ひったくり3件、詐欺1件でした。

そのほとんどがスリや置き引きの窃盗被害であり、被害場所はミラノとヴェネチアが多く、特にミラノのドゥオーモ周辺と中央駅に被害が集中しています。

スリの手口に関して、イタリア刑法で「妊娠中の被疑者は必ずその刑に執行猶予が付される」と定められているため、これを利用した妊娠中の東欧系の女性スリグループが地下鉄等で犯行を繰り返しています。

よって人が混雑する場所やラッシュアワー時には、被害に遭わないよう貴重品から目を離さない等の注意をお願い致します。

2 日本人被害（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

- (1) 車上狙い1件（参考：7月から9月は1件）

被害例：駐車場に駐車していたわずかの間に窓が割られ、所持品が窃取されました

- (2) 置き引き2件（同：6件）

被害例：電車内やレストラン等で目を離している隙にバックを窃取されました。

- (3) スリ7件（同：7件）

被害例：公共の場所で写真撮影や携帯などを見ている間に窃取されました。

男性が硬貨を落とすなどして注意を逸らされた間に窃取されました。

3 殺人・強盗・誘拐等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例は以下のとおりです。

なお治安当局は、イタリアの2022年殺人件数は309件（前年比+11件）と発表しました。

- (1) 10月下旬、ミラノ郊外のフィジーノにおいてサッカーのサポーターリーダーだった被害者（69歳）が、何者かに銃で撃たれ殺害されました。
- (2) 10月下旬、ミラノ中央駅のドゥーカ・ダオスタ広場で、モロッコ人等（10代）が、観光客から腕時計を強奪したとして逮捕されました。
- (3) 12月中旬、中国人男性（35歳）が、ミラノ市内コルベットにある自身のバー店内において、何者かに銃で撃たれ殺害されました。

4 テロ・爆弾事件発生状況 特になし。

5 対日感情の変化 特になし。

6 本企業の安全に関する諸問題 特になし。